

## 【社会】

## 「森友」協議 音声データ詳報

2017年12月20日 朝刊

学校法人「森友学園」への国有地売却問題で、地中のごみを巡る学園側と国側の協議の詳細が記録された音声データ。協議には、学園側は籠池泰典（かごいけやすのり）理事長と、妻の諄子（じゅんこ）・幼稚園副園長、学園の代理人弁護士、小学校建設業者、国側は財務省近畿財務局の統括国有財産管理官とその部下、国土交通省大阪航空局職員が出席していたとみられる。（肩書はいずれも当時）

学園は二〇一五年五月、小学校建設を予定する国有地について国側と定期借地契約を締結。翌六月から十二月にかけて、土壌改良と地中のごみの撤去工事を実施した。

しかし昨年三月十一日、学園側が財務局に「地中から新たなごみが見つかった」と連絡。籠池氏が財務省国有財産審理室長と面会後の同月二十四日、学園側の代理人弁護士が財務局に土地の購入を申し出た。音声データに記録された協議はこの後の三月下旬に行われたとみられる。協議の詳細は次の通り。

学園の代理人弁護士（以下、弁護士） 「うちはリスク負ってやっている。今、口約束できないのは分かるが、鑑定額はこちらの納得いくような金額じゃなかった場合、相当な話になる。そうならないよう資料の作成の仕方とか話の持っていき方は、知恵を絞ってもらわなければいけない。●●さん（工事業者）に見積もり出してくれとか、いろいろ言ったら頑張ってくれと思うし、こういうのが要るんだというものを詰めて、ピックアップしてほしい。（中略）どういう理屈で、土地の評価を下げようと考えているのか教えてほしい。どうやるのが一番勘所がいいのか。（中略）土壌汚染があるかどうかの調査報告書がほしいなら調査はできる」

工事業者 「分析の状態によって少しずれる可能性、後ろにずれる可能性も。もちろん前にいく可能性もあるが」

（中略）

国側の職員 「われわれ土壌汚染調査も、（大阪府）豊中市にも一応手続きをして終わっている整理。まだ出てくるが。現状の考え方は、こういう状況を現認をしたうえで、これを地価に反映させるかして整理ができるのが一番ありがたい。（中略）もっと問題も発生するので、こういったものが内包されていることをもって反映させた形で提示をさせていただければありがたい」

（中略）

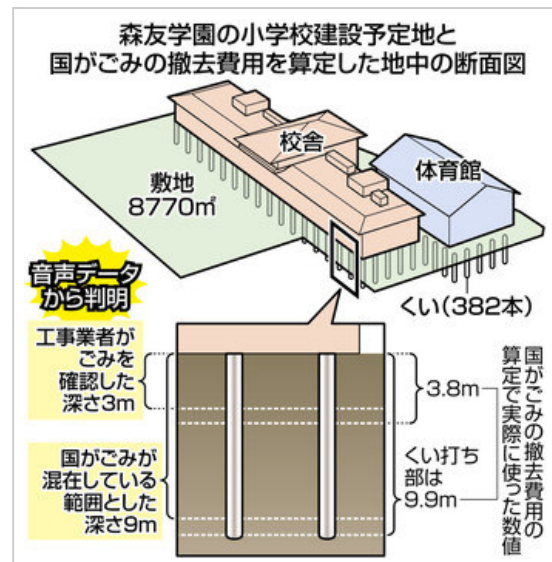
弁護士 「調査報告書を二週間、三週間でできるものを出した方がいいのか。（中略）白黒ははっきりさせない方がいいんじゃないのかという考え方もある」

国側の職員 「そこはわれわれが現場確認した上で、いかに評価上反映させるか。冒頭話のあった●●さん（工事業者）に『こういう資料出ますか』とお願いしながら作業させていただくのがありがたい」

（中略）

国側の職員 「僕はこの現場だけを見て、写真を撮って、内部にも早く要望を伝えていきたい。僕と●●（部下）は現場へ行って、写真だけ撮らしてもらって、そのうえでいろいろと手続きを進めたいと」

（中略）



弁護士 「先ほど言ったように、土地の価格から処分費用を引いてもらえる話として、土地の評価ができるんだったら。そしたら、その時点で売買代金を処理するし、引けないと言うなら後で請求するしかない」

国側の職員 「金額をまず提示して、それでどうかというところになる。それで合意に至らなければ当然、国が請求を受けるという話になると思う」

(中略)

弁護士 「そういう値段と、そこから処理費用を引けるような形で話をもっていってもらうように。仮に引けなかったとしても、後で請求できるような形にしてもらいたいし、土地の値段もできるだけ低くということをお願いする」

(中略)

籠池理事長 「棟上げの時に、首相夫人来られることになっている。だから日にちの設定をした。設定をしててこんなになってしまった。どうするの、僕の顔は。サミットが終わったついでに、こっち寄ろうかと。あほとちがうか」

弁護士 「そういう目に見えない所で今回の件があるので、私から言えるのは、それはもう分かって、死ぬ気で、値段を下げる所に取り組んでほしい、知恵を絞ってほしいということ。(中略)『お願いします』と言って値段は下がらない。ちょっと失礼かもしれないが、下がる理屈を考えないといけない」

籠池理事長 「信用できるのか。(中略)引返すことないの？」

諄子副園長 「●●さん(設計業者)言っていた。『僕は、近財も航空局も信じてない』と言っていた」

(中略)

国側の職員 「前の●●さん(工事業者)、三メートルまで掘ると、その後で、柱状改良というのをやって、その下からごみが出てきたというふうに理解している。(中略)その下にあるごみというのは、国が知らなかった事実なんで、そこはきっちりやる必要はあるというストーリーはイメージしている。三メートル以下からごみが噴出しているという写真などがもし残ってたら」

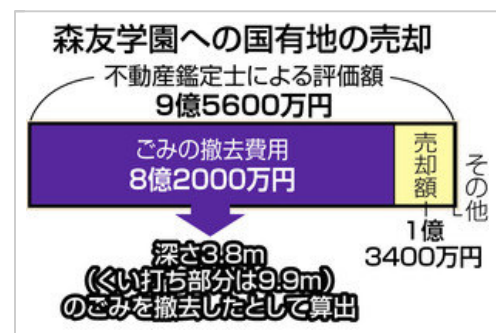
工事業者 「ちょっと待ってください。そこは語弊があるので。三メートル下から出てきたかどうかは分からない。下から出てきたとは確定、断言できてない。そこにはちょっと大きな差がある。認識をそういうふうに統一した方がいいのであれば合わせる。でもその下から出てきたかどうかは、工事した側の方から、確定した情報としては伝えるのは無理」

国側の職員 「●●さん(工事業者)からそういう話は聞いている。●●さん(設計業者)からもそういうふうに聞いている。どこの層から出てきたか特定したいのでこういう聞き方をしてきた。●●さん(設計業者)もどこから出てきたか、判然としないという話で今までは聞いている。ただ今後、資料を調整する中でどういう整理をするのがいいのか協議させていただけるなら、そういう方向で話し合いをさせていただければありがたい」

工事業者 「虚偽をわれわれは言うつもりもないので、事実だけを伝える。ただ、その事実を伝えることが(森友)学園さんの土地(の価格)を下げることに反するならそちらに合わせることはやぶさかでない」

弁護士 「虚偽という表現があったが、それは●●さん(設計業者)も一緒に、そちら側から頼まれてこちらが虚偽の報告して、後で手のひら返されて、『だまされた』と言われたら、これは目も当てられない話になるので、それは嫌だという話。だから逆に、●●さん(工事業者)とか●●さん(設計業者)の方に、●●(以前の工事業者)がやった三メートルのところから全部出てきたか、と言われたらそれもノーだ」

工事業者 「三メートル下より三メートルの上からの方がたくさん出てきてるので、三メートル下からはそんなにたくさんは出てきていないんじゃないかな」



国側の職員 「言い方としては混在と。九メートルまでの範囲で」

工事業者 「九メートルというのはちょっと分からない。そこまでの下は」

弁護士 「そこは言葉遊びかもしれないが、九メートルの所までガラが入っている可能性を否定できるかと言われたら否定できない。そういう話だ」

工事業者 「その辺をうまくコントロールしてもらえらなら、われわれは資料を提供させてもらう」

国側の職員 「虚偽にならないように、混在していると。ある程度、三メートル超もあると。全部じゃない、ということ」

工事業者 「あると思う」

国側の職員 「そんなところにポイントを絞りたい」

(中略)

弁護士 「言い方悪いが、まず半分はこういう事態が起きたので、損害を最小限にするために一生懸命やっているだけということで信頼している。もう半分の問題は責任問題に発展しないように頑張っただけということ意味での信頼を持っている。半分はわれわれのためにやってもらえると。半分はご自身のために頑張ってくださいと」

(中略)

弁護士 「希望としては一億五千万かかるという報告をもらって、それより低い金額で買いたい」

国側の職員 「理事長が考えているマイナスという話になるかというのは、金額の評価に関しては、やるだけやってみて、見ていただいて、判断していただくしかない。いくらと確約できる話でもない。●●先生（学園側代理人弁護士）からも言われて、最大限反映できるような形の手続きをやっている」

2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
9月	森友学園が財務省近畿財務局に大阪府豊中市の国有地の取得要望書を提出	9月	森友学園が財務省近畿財務局に大阪府豊中市の国有地の取得要望書を提出	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
5月29日	国と学園が定期借地契約を締結	5月29日	国と学園が定期借地契約を締結	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
6月12日	学園側が土壌改良と地中ごみの撤去工事を実施	6月12日	学園側が土壌改良と地中ごみの撤去工事を実施	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
9月5日	安倍晋三首相の妻昭恵氏が学園の幼稚園で講演	9月5日	安倍晋三首相の妻昭恵氏が学園の幼稚園で講演	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
11月15日	首相夫人付きの政府職員が、財務省国有財産管理室長に対する照会結果を学園の龍池泰典理事長にフェイスブックで回答	11月15日	首相夫人付きの政府職員が、財務省国有財産管理室長に対する照会結果を学園の龍池泰典理事長にフェイスブックで回答	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
3月11日	学園が財務局に「地中から新たなごみが見つかった」と連絡	3月11日	学園が財務局に「地中から新たなごみが見つかった」と連絡	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
15日	龍池理事長が国有財産管理室長と面会し、地中ごみの撤去などを要請	15日	龍池理事長が国有財産管理室長と面会し、地中ごみの撤去などを要請	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
24日	当時の学園の弁護士が財務局に土地の購入を申し出る協議が行われる	24日	当時の学園の弁護士が財務局に土地の購入を申し出る協議が行われる	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
30日	財務局が地中ごみの撤去処分費用について見積もることを国土交通省大阪航空局に依頼	30日	財務局が地中ごみの撤去処分費用について見積もることを国土交通省大阪航空局に依頼	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
4月5日	財務局と大阪航空局が現地確認	4月5日	財務局と大阪航空局が現地確認	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
6日	15年に行われた地中ごみの撤去費用1億3176万円を大阪航空局が学園に支払う	6日	15年に行われた地中ごみの撤去費用1億3176万円を大阪航空局が学園に支払う	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
14日	大阪航空局が地中ごみの撤去費用を約8億2000万円と財務局に報告	14日	大阪航空局が地中ごみの撤去費用を約8億2000万円と財務局に報告	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
5月18日	国と学園側の会合で、「ゼロ円に近い形で払い下げをしてほしい」という龍池理事長の求めに、財務省職員が「ゼロに近い金額」まで努力する作業をやっていくと「明言」	5月18日	国と学園側の会合で、「ゼロ円に近い形で払い下げをしてほしい」という龍池理事長の求めに、財務省職員が「ゼロに近い金額」まで努力する作業をやっていくと「明言」	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
6月20日	財務局が鑑定評価額を9億5000万円とする	6月20日	財務局が鑑定評価額を9億5000万円とする	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
31日	不動産鑑定評価書を不動産鑑定業者から受領	31日	不動産鑑定評価書を不動産鑑定業者から受領	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
17年	国が評価額から地中ごみ撤去費を差し引いたとして1億3400万円を売却する契約を学園と締結	17年	国が評価額から地中ごみ撤去費を差し引いたとして1億3400万円を売却する契約を学園と締結	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
5月8日	財務省が衆院予算委員会で、龍池前理事長と国有財産管理室長との面会時の音声データを実際のやりとりの記録と認める	5月8日	財務省が衆院予算委員会で、龍池前理事長と国有財産管理室長との面会時の音声データを実際のやりとりの記録と認める	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
10日	学園が大阪府に対する小学校設置の認可申請を取り下げ	10日	学園が大阪府に対する小学校設置の認可申請を取り下げ	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
6月19日	大阪地検特捜部が学園の事務所などを家宅捜索	6月19日	大阪地検特捜部が学園の事務所などを家宅捜索	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
7月31日	特捜部が国の補助金を詐欺したとして詐欺容疑で龍池前理事長夫妻を逮捕	7月31日	特捜部が国の補助金を詐欺したとして詐欺容疑で龍池前理事長夫妻を逮捕	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
8月21日	特捜部が夫妻を詐欺罪で起訴し、大阪府の補助金の詐欺容疑などで再逮捕	8月21日	特捜部が夫妻を詐欺罪で起訴し、大阪府の補助金の詐欺容疑などで再逮捕	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
9月11日	特捜部が大阪府の追加告訴と大阪市の告訴も合わせた詐欺罪などで夫妻を追起訴	9月11日	特捜部が大阪府の追加告訴と大阪市の告訴も合わせた詐欺罪などで夫妻を追起訴	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
11月22日	会計検査院が検査結果を公表	11月22日	会計検査院が検査結果を公表	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
27日	財務省が衆院予算委員会、音声データに残された国有地の売却価格を巡る国と学園側のやりとりを事実と認める	27日	財務省が衆院予算委員会、音声データに残された国有地の売却価格を巡る国と学園側のやりとりを事実と認める	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める
28日	財務省が衆院予算委員会、地中ごみの量を巡る国と学園側のやりとりを記録した音声データの存在を認める	28日	財務省が衆院予算委員会、地中ごみの量を巡る国と学園側のやりとりを記録した音声データの存在を認める	3月6日	参院予算委員会が参院として会計検査院に検査と結果報告を求めることを決める

東京新聞の購読はこちら 【1週間ためしよみ】 【電子版】 【電子版学割】

関連記事ピックアップ

ごみの深さ「虚偽の数字」と業者 国、森友から要請で変更か

(2018年3月16日)

龍池被告「いい土地」発言認める 野党接見「確かにあった」